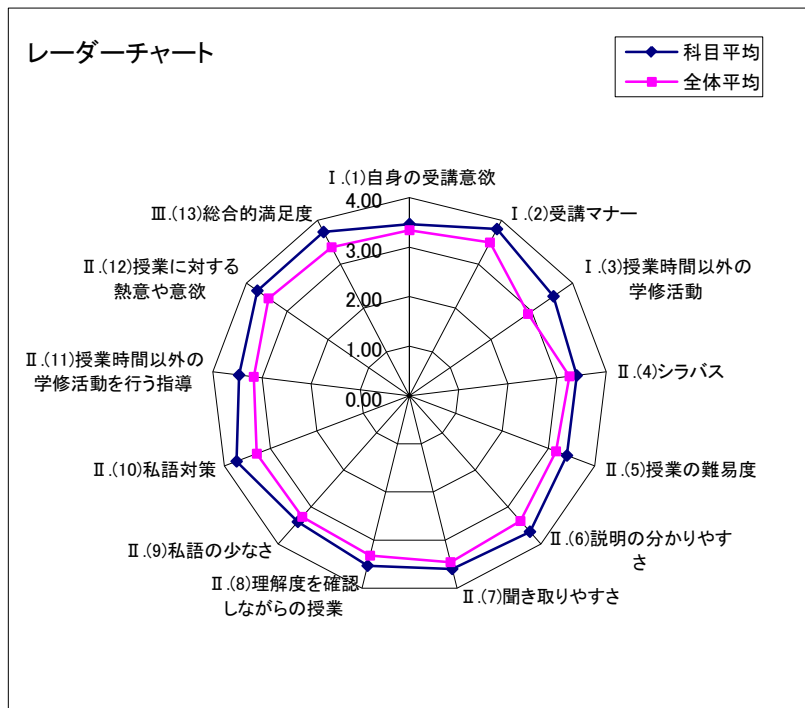
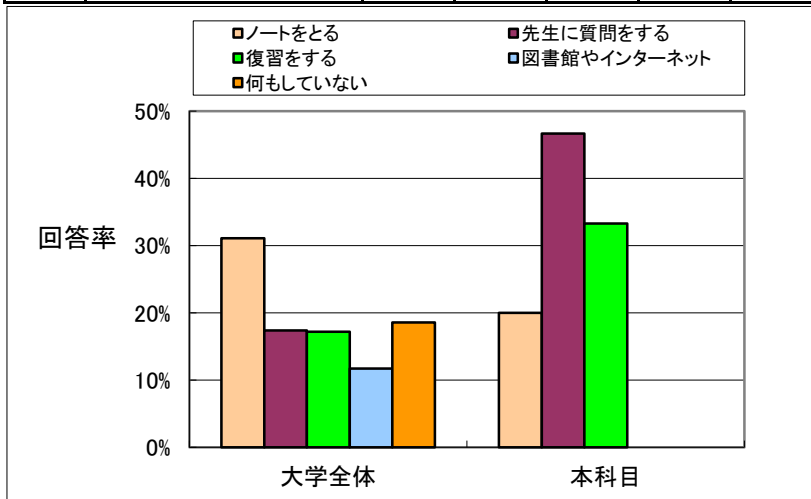


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	20.0	46.7	33.3	0.0	0.0



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.47	3.34
	I.(2)	3.80	3.49
	I.(3)	3.53	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.40	3.26
	II.(5)	3.40	3.16
	II.(6)	3.67	3.38
	II.(7)	3.60	3.46
	II.(8)	3.53	3.32
	II.(9)	3.40	3.27
	II.(10)	3.73	3.30
	II.(11)	3.47	3.17
	II.(12)	3.73	3.46
	総合評価	III.(13)	3.73

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.60	3.25
I.(1)～(3)	3.60	3.25
講義内容・方法	3.55	3.31
II.(4)～(12)	3.55	3.31
総合評価	3.73	3.39
III.(13)	3.73	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1413
科目名	日本語(上級作文)Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

本授業は、作文を中心とした授業であるが、先ず小テストを課し、自己採点しながら、日本語文の基本文型を毎回練習した。この時取り上げる表現は、日本語独特の表現に絞った。必ず黒板に作文を書かせ、その場で授業者が添削をし、何故間違いないのか、どのように直せば、良くなるのかをできるだけ解説しながら、授業を進めた。その結果、90%の学生が満足できる授業であると、アンケートに答えている。後期は、前期の反省を踏まえ、長文の読解にも力を入れた。ほぼ、計画は達成できた。

②授業の進め方について

受講人数も適当で、私語もない。一部の学生が、必ず遅刻するので厳しく注意を与えている。それ以外は、概ね快適な環境で授業が進められたと感じている。学生の90%以上が授業環境に満足している。黒板に作文を書く学生に対する添削だけでなく、他の学生に対しても机間巡視によって、作文の添削を行った。また実践的な課題を与え、様々な種類の文章を作成し提出させることも行ったので、幅広い作文指導ができたと認識している。およそ40%の学生は多少難しかったと感じていたようであるが、適当な難易度であると考えている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

想定外のマイナス評価はなかったと認識している。私語対策と授業運営上の必要から座席指定を行っているが、授業アンケートの結果から見て、一定の効果を上げていると思われる。今後も行いたい。これまで、あまり文学的教材は用いてこなかったが、今後20%程度は、文学的教材も取り入れて、日本語表現の豊かさを体験できるようにしたい。